図書館だより

1月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				①	②	③
④	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	⑮	16	17
18	⑲	20	21	22	23	24
25	㉖	27	28	29	㉚	31

○印　休館日
月曜日・祝日(15日)
月末館内整理日(30日)
年始休館(1月1日～1月5日)

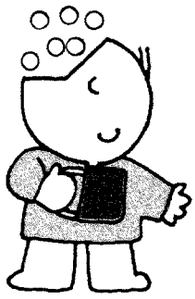
わらんべの溺るゝばかり初湯かな　蛇笏

初湯は新年はじめて沐浴する湯。銭湯は大晦日は終夜沸かし、元日休んで二日が初湯である。
(『最新俳句歳時記』より)

今月の新刊図書案内

一般図書

大事典ナビックス　荒木創造
アダルトチルドレンの心理学
英語で話す「仏教」Q&A　高田佳人
時代考証日本合戦図典　笹間良彦
北朝鮮50年史　金学俊
戦国・江戸男を育成した女の才覚　童門冬二
フィレンツェひとり歩き　佐藤幸三
首相官邸の決断　石原信雄
ものぐさ人間法廷学　和久峻三
現代の県民気質
NHK放送文化研究所
年金のしくみと受給の仕方　広瀬利彦
犯罪に向かう脳　アン・モア
中高年からのボランティア　祐成善次
教育をどうする　岩波書店編集部
カエルや魚が降ってくる！　J・デニス
地球温暖化日本はどうなる？　環境庁地球環境部
見逃すな！病気のサイン119　清水和夫
クルマ安全学のすすめ　清水和夫
原発を拒んだ町　新潟日報報道部
家事らくらく便利帳　快適家事研究会
井上ひさしの農業講座　井上ひさし
図解郵便局が見る見るわかる　永六輔
たかがテレビされどテレビ



浮世絵探検　高橋克彦
古代エジプトの壁画　仁田三夫
やさしい刻字入門　渡辺寒鷗
母なる映画、父なるビデオ　古舘伊知郎
飛翔　中平邦彦
山口伸美の言葉の探検　山口伸美
藤沢周平のすべて　文芸春秋
短歌・俳句同時入門
月のしずく　浅田次郎
朱色の研究　有栖川有栖
結婚恐怖　小林信彦
三浦和義事件　島田荘司
尾張春風伝 上・下　清水義範
男はみんなギックリ腰　永倉万治
死の泉　皆川博子
青雲はるかに 上・下　宮城谷昌光
天狗風　宮部みゆき
タイル　柳美里
妄想の森　岸田今日子
夫と妻の元気な老い仕度　近藤富枝
残りのひとくち　出久根達郎
5年後、幸せになる　唯川恵
隠蔽　奥野修司
もし川がウィスキーなら
T・コラゲッサン・ボイル
闇の天使　ジャック・ヒギンズ
パリンドローム
スチュアート・ウッズ
時の主人（あるじ）
クリストフ・バタイユ
逃げ道　フランソワーズ・サガン
外二一四冊

児童図書

子どものための護身術
未来の地球へ出発
連なる山々日本アルプス
薬物の害がわかる本
かんたんメルヘンクッキング
ウサギ・モルモットのひみつ
だれでも少女マンガ名人
日本の方言大研究　1―7
クマのたんす
ちいさなUFOヤドカタツムリ
アリサちゃんのまほうの木
海は死なない
ゴリラを描きたくて
ヒーローのふたつの世界
ろうかのいちばんおくの教室は
十二支のはじまり
ばばばあちゃんのマフラー
ぐりとぐらの1ねんかん
こうしはそりにのって
はじめてのたまご売り
外八二冊

心の健康シリーズ（57）

子どもを「鉄人28号」でなく「鉄腕アトム」に育てよう

この漫画は、だれもが子どもの頃楽しんで見たので、よく知っていると思います。どちらも正義の味方で悪をやっつける内容でワクワクしながら、テレビに釘づけになって、手を叩いたり、声援したりしたのを想い出します。

この両方の違いは、アトムは感情を持ち、六〇カ国の国語をあやつり、人間の心の善悪を感じ取り、自分の判断で正しく行動できるのに対し、鉄人28号は、正太郎少年のリモートコントロール操縦機によって動かされているところです。つまり鉄人28号は、操縦者の意思でしか行動できない訳です。悪人に操縦機を奪われれば、悪人の意のままに動く弱点があります。

最近コンピューター時代となり、大変コンピューターが普及してきました。しかし、現在のコンピューターは、入力してあるものの範囲では正確に答えが出ますが、新しい問題には自分で考えて判断することは出来ません。

けれども、これからの変化する社会を生きていかなければならない人間の場合には、それでは困るのです。

最近の子どもの実態調査を見るにかならずしも良い方向に伸びているとはいえません。

自主性や忍耐力が劣り、正しい判断力、正義感などが欠け、問題行動を起こしがちです。

そして、人にいわれなければ、自分から行動できない子どもが多くなっているようです。「三気欠乏症候群」などといわれています。「元気がない」「根気がない」「やる気がない」、ないない子どもが目立ちます。

親がご自分のお子さんを「鉄人28号」になるように育てていませんか。見かけは鉄人28号のように丈夫で素直でも、親や教師にいわれたとおりに動くだけのロボット人間では、頼りにならないし、将来の役に立つ人間にはなりません。変化の激しい社会を生き抜くためには、主体的に考え、正しく判断し、進んで行動できる子どもに育てることが大切です。

そのためには、今から親のリモートコントロールを止め、子どものすることを暖かく見守り、家事の手伝いなど、その子の成長に応じ、分担し、責任を持たせ、認め、褒め、励ましながら育てることが大切です。

子どもは、本来活動的です。活動する中で、賢さや器用さを身につけていくのです。体験する中でいろいろ学び、力をつけていくのです。

子どもの悩みごとは
教育相談室へ
（八潮屋台展示庫前）
月～金　午前8時30分～
午後4時30分
☎(43)1323